

第5学年音楽科学習指導案

- 1 題材名 曲想を味わおう
教材名 鑑賞「威風堂々 第1番」(エルガー作曲)

2 題材について

《新学習指導要領とのかかわり》

B 鑑賞	ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。
	イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。
[共通事項]	ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。
	音楽を特徴付けている要素 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり 音楽の仕組み 反復、呼びかけとこたえ、変化

(1) 題材観

本題材は、曲想とその変化を感じ取りながら、音楽の構造との関わりについて理解することをねらいとしている。

曲想とは、その音楽に固有の雰囲気や表情、味わいのことであり、音色、リズム、速度、旋律などの音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みの関わり合いによって生み出されるものである。また、音楽の構造とは、音楽を形づくっている要素の表れ方や、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みとの関わり合いである。本題材では、児童が感じ取った曲想について、音楽を形づくっている要素の働きがどのようなよさや面白さ、美しさを生み出しているのかについて考える活動により、ねらいにせまる。

本題材では、「鑑賞→聴き取り、感じ取る→音楽を特徴付けている要素と結び付ける→鑑賞」という聴き方を学習し、楽曲のよさを見いだす。そして、この思考の流れを小中学校9年間共有することによって、どのような音楽を鑑賞したときにも、同じ思考の流れで楽曲のよさを鑑賞する児童を育てていきたい。

(2) 指導観

本学級は、音楽の学習が好きな児童が多いが、鑑賞の領域になると、好きではあるものの聴き方に自信を持っていない児童が多い。これまで、音楽に合わせて体を動かしたり様子を思い浮かべたりして曲想を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素を聴き取ったり

してきたが、それらの関わり合いについて理解することがあまりできていない。そこで、前述した鑑賞の学習の学び方を定着させていきたいと考える。

本題材で取り上げる「威風堂々第1番」は、イギリスの作曲家エドワード エルガーの全5曲からなる管弦楽のための行進曲「威風堂々」の中でも最も有名な作品である。中間部の旋律には「Land of Hope and Glory（希望と栄光の国）」というタイトルで歌詞がつけられ、「イギリスの第二国歌」のように歌われ親しまれている。日本においても、入学式や卒業式など様々な行事で選曲され、テレビやCM等で使用されている。本校においても、卒業式で毎年5年生が中間部を合奏する。児童にとっては入学以来4年間聴く機会があり、親しみのある曲である。

曲は、「はじめ—アーイーアーイー—終わり（アは激しく躍動感のある部分、イはゆったり堂々とした動きの部分）」で構成されており、対照的な曲想のアとイの部分が交互に現れる。どちらの曲想も、音楽を特徴付けている要素である「旋律」「リズム」「速度」「強弱」などと、音楽の仕組みである「反復」や「呼びかけとこたえ」「変化」などとの関わり合いから、曲全体の音楽の構造との関わりがとらえやすい。また、曲想の変化がはっきりしているのには、アとイの変化の前に予兆の部分があり、「旋律」や「リズム」「速度」などが対照的に変化することによって違いがとらえやすい。

本題材では、第1時でまず曲全体を聴き、心に残ったことを言葉で表す。その際、「曲の感じを表す言葉」を活用して、一人一人が曲想を感じ取れるようにする。そして、感じ取ったことを学級全体で共有することで、曲の場面によって曲想の違いがあることや、似た曲想が反復していることに気付かせるようにし、「はじめ—アーイーアーイー—おわり」の構造をつかませたい。さらに、皆で足踏みをしながら曲全体を聴くことで、音楽を形づくっている要素である「速度」に着目しやすくさせ、曲想と速度を関連付けて変化を感じ取らせたい。音楽を形づくっている要素の聴き取りについて、皆で体を動かすことによって抵抗なく学習に取り組み、「なぜ曲想が変化したと感じたのか」について、音楽を特徴付けている要素と関連させて音楽を聴いていくことを確認する。

第2時では、構造図を活用して、感じ取ったことと音楽を特徴付けている要素との関わりを結び付けながら、アとイの曲想の違いに迫る。感じ取ったことの根拠が「旋律」や「リズム」などの音楽を特徴付けている要素と関わっていることに気付かせるため、机間指導をし、要素に関わる記述がある児童を意図的に指名しながら構造図にまとめていき、学級全体で学習を深め、曲全体を味わって聴くようにする。その際、感じ取った曲想と音楽を特徴付けている要素の関わりを確かめるため、必要な部分を取り出して聴いて確かめられるようにしておく。また、旋律を聴き取る際に、一緒に旋律を手で表してみたり、リズム打ちをしたりして音楽を特徴付けている要素をとらえられるようにしていきたい。

第3時では、再度楽曲を全体にわたって聴くことで、音楽全体の構造を考えていく。同じアでも、1回目と2回目では「音色」や「音の重なり」が違うことや、曲の終わりに向けて楽曲が盛り上がっていくことなど、構造図に表して視覚化し、学級全体で確認をしながら共有していくことにより、楽曲のよさや面白さを味わうことができると考える。

さらに、イギリスのプロムナード・コンサートで演奏される「威風堂々第1番」の映像で、曲想に合わせて膝を上下させて拍を感じとったり、旗を振ったりして音楽を楽しむ人々の様子の鑑賞により、楽曲のよさや楽しさ、文化に興味をもたせたい。そして最後に、自分の言葉で音楽を形づくっている要素を根拠とした楽曲の楽しさやよさをまとめ、児童自らがこの楽曲の価値を見いだせるようにしたい。

3 題材の目標

○旋律、リズム、速度、強弱などの変化から曲想の変化を感じ取り、音楽の構造との関わりを理解する。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<p>楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴、楽曲の構造、楽曲の特徴や演奏のよさに興味・関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出す曲想とその変化などを感じ取ったり、楽曲の構造を理解したりしている。 ・楽曲全体にわたって聴き、音楽を形づくっている要素が生み出す楽曲のよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の構造、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。

5 研究の視点について

【視点1】 9年間を見通した学び方の共有

○鑑賞の授業における、思考の過程の共有

小学校では「鑑賞→感じ取る→音楽を特徴付けている要素と結び付ける→鑑賞」という音楽の聴き方を学習し、楽曲のよさを見いだす。具体的には、音楽を聴くときに体を動かす活動を取り入れるなどして、曲想を自由に感じ取らせる。そして、感じ取った理由が音楽を特徴付けている要素のどこから感じられたのかを考え、結び付けていく。そして、最後にもう一度音楽を聴き、確認をする流れで学習を進めていく。他の楽曲でも同じ聴き方をし、この思考の過程を小中学校9年間共有することで、どのような楽曲を鑑賞するときにも、同じ思考の過程をたどって楽曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く児童を育てたい。

○楽曲全体にわたって聴くための構造図の活用

鑑賞の学習では、楽曲全体にわたって聴くことが大切である。楽曲全体にわたって聴くことで、楽曲の構造や音楽を特徴付けている要素、音楽の仕組みを理解することができる。

本時では、「はじめーアーイーアーイーー終わり」という音楽の構造を、構造図を用いて視

覚化し、学級全体で共有する。それにより、曲全体の中で音楽を特徴付けている要素と曲想がどのように関わっているかを整理して考えることができると思う。

構造図は、曲想ごとに分けた音楽の構造を基本軸とする。そして、曲を聴いて感じ取った曲想と、音楽を形づくっている要素を整理し、それらを結び付けて聴くことで、曲想の変化や楽曲全体の構造を理解できるようにしたい。

6 題材の指導計画及び評価計画（3時間扱い）

次	時	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ○「威風堂々第1番」を聴き、曲想を感じ取り、音楽の構造を理解する。 ・曲全体を通して聴き、曲想を感じ取る。 ・2拍子に合わせて足踏みをして、アとイの曲想の違いをつかむ。 ・感じ取ったことや聴き取ったことを自分の構造図にまとめる。 	<p>楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴、楽曲の構造、楽曲の特徴や演奏のよさに興味・関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p>
	2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○アとイを聴いて、音楽を形づくっている要素と結びつけながら、曲想を感じ取る。 ・アとイの曲想の違いを思い出す。 ・アとイの部分について、感じ取ったことと音楽を特徴付けている要素との関わりを確認する。 ・感じ取った曲想の違いを、構造図にまとめながら全体で共有する。 ・曲全体を聴き、曲想の変化と音楽の構造との関わりを確認する。 	<p>旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出す曲想とその変化などを感じ取ったり、楽曲の構造を理解したりしている。(鑑賞の能力)</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想の変化と音楽を形づくっている要素を結びつけながら、楽曲のよさを見いだす。 ・構造図を見ながら曲全体を聴き、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを確認する。 ・イギリスの「プロムナード・コンサート」で演奏されている「威風堂々第1番」を視聴し、曲想を生かした音楽の楽しみ方や文化に興味をもつ。 ・曲想やその変化と音楽の構造との関わりを関連付けて、「威風堂々第1番」の楽曲のよさをまとめる。 	<p>楽曲全体にわたって聴き、音楽を形づくっている要素が生み出す楽曲のよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の構造、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。(鑑賞の能力)</p>

7 本時の学習(2 / 3)

(1) 本時の目標

○アとイの曲想の違いを感じ取り、音楽を形づくっている要素との関わりを考える。

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	○教師のかかわり◆評価規準(評価方法)
7分	1 前時の活動を振り返る。 ・曲想を意識しながらアとイを聴き、曲に合わせて足踏みをする。 「アは速くて、イより激しい感じがした。」 「イはアよりも少し遅くて、堂々としている感じがした。」 「アからイに変わるところで、速度が遅くなっている」	○教師のかかわり◆評価規準(評価方法) ○構造図を提示し、曲想が変化していることと、速度が変化していることとの関係を想起させる。 ○速度以外の要素にも着目できるように「音楽を形づくっている要素カード」を掲示しておく。
1分	2 本時のめあてを知る。 アとイを聴き比べて、曲想の違いを感じ取ろう。	
15分	3 1回目のアとイの部分(約3分30秒)を聴き比べ、前時に感じたことと、音楽を特徴付けている要素がどう関係しているのか考える。 ・曲を聴き、近くの座席の児童と、聴き取ったことを共有し合う。 ・「聴く→共有する→聴く→共有する」の流れで、自分の構造図に付け加えたり、話し合ったりする。	○前時に速度に着目して聴いたことを想起させ、自分が感じ取ったことと音楽を特徴付けている要素(旋律やリズム)がどのように関係しているのかを考えるよう助言する。 ○感じ取ることが難しい児童には、一緒に旋律を手で表してみたり、リズムをたたいてみたりして支援する。 ○近くの座席の児童と共有し合うことで、いろいろな感じ方があることに気付くようにする。
15分	4 アとイを聴いて感じ取ったことと、音楽を特徴付ける要素のカードを適宜活用して関係付けるように、思考を整理する。 ・感じ取ったことと音楽を特徴付けている要素について発表する。	○感じたことの根拠が音楽を特徴付けている要素と関わっていることに気付かせるため、机間指導をし、要素に関わる記述がある児童を意図的に指名する。 ○アとイの音楽を特徴付けている要素の

	<p><児童と教師のやりとりの例></p> <p>ア S 「はねている感じがしました」 T 「どうしてはねている感じがしたのかな？」 S 「音が細かい感じがしました」 T 「音が細かいということ？」 S 「リズムが細かかったです」 (リズム) イ S 「おだやかな感じがしました」 T 「どうしておだやかな感じがしたのかな？」 S 「伸ばす音が多くてゆったりした感じだったから」 (リズム) (旋律)</p>	<p>表われ方を比較できるように、黒板の構造図に整理して書き加えていき、共有できるようにする。</p> <p>○感じ取った曲想と音楽を特徴付けている要素の関わりを確かめるため、必要な部分を取り出して聴けるようにする。</p> <p>○旋律やリズムに違いがあることをおさえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出す曲想とその変化などを感じ取ったり、楽曲の構造を理解したりしている。</p> <p style="text-align: right;">(鑑賞の能力)</p> <p style="text-align: center;"><ワークシート・発言></p> </div> <p>7分</p> <p>5 曲全体を聴き、アとイの曲想の違いと、音楽の構造との関わりについて確認をする。</p> <p>「アとイの曲想の違いが分かった。」 「アとイの1回目と2回目は、曲想がさらに変化しているのではないか。」</p> <p>○感じたことと、音楽を特徴付けている要素に気を付けて聴くことを助言する。</p> <p>○曲全体を聴いて、アとイは1回目と2回目で曲想が違うことに目を向けられるようにし、次時に、曲全体をもう一度聴いて確かめることを伝え、見通しを持たせるようにする。</p>
--	---	---

「威風堂々第1番」聴き、曲想の変化を感じ取ろう。

曲想…音楽に固有の雰囲気や表情、味わいのこと

音楽の構造 「ア」「イ」	はじめ					おわり
感じ取ったこと						
音楽を特徴付けている要素						

音楽を特徴付けている要素

音色 おんしよく リズム 速度
旋律 せんりつ 強弱 音の重なり

「威風堂々第1番」のよさは…

メモ

